

マーケットの動き（2025年5月12日～5月16日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

週初は、米中間で関税引き下げが合意されたことを受け投資家のリスク選好の動きが進み、米国債は売られました。その後、15日発表の4月の米国PPI（卸売物価指数）の上昇率が市場予想を下回り、米国債は買われましたが、16日夕方に米大手格付け機関が米国債の格下げを発表すると再び売られる展開となりました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2025年5月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに徐々にレンジを切り下げる

米国：関税政策の不確実性が、物価動向や消費者心理に加えてドルに対する信任に影響を与えています。景気が徐々に減速するとみられる中、長期金利は徐々にレンジを切り下げる動きになるとみえます。

欧州：ドイツ長期金利は同国政府による財政拡張を材料にした上昇が一服するとともに、財政プレミアム水準も調整されたとみられます。当面はサービス価格の上昇が鈍化する中、米国関税政策による域内景気の減速が懸念されることに加え、ECB（欧州中央銀行）は利下げ姿勢を続けることとみられることから、レンジを徐々に切り下げるとみえています。

	5月16日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.44	0.07	0.17	0.00	0.07
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	593.49	0.11%	1.75%	▲2.25%	▲1.62%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202505_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2024年4月30日～2025年5月16日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2024年4月30日～2025年5月16日）



※2024年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成